

ダンボールコンポストで **生ごみ** リサイクル!!

コンポストとは

- ・堆肥化容器のこと。容器内で微生物が生ごみを分解し、堆肥に変えます。
- ・生ごみを減量することが可能で、できた堆肥は園芸に利用できます。



※ダンボールコンポストは、①材料の入手が容易で安価
②微生物にとって快適な環境を整えやすい という長所があります。

ダンボールコンポストを使ってみよう!

●ダンボールコンポストの材料

- ①ダンボール (ある程度の強度が必要)
- ②ガムテープ (紙製のもの)
- ③基材 (例: おがくず、剪定チップ、もみ殻くん炭など)
- ④スコップ
- ⑤コンポストカバー
- ⑥水
- ⑦レンガ、網

強度と通気性の両立が必要です!

●ダンボールコンポストの作り方 (一例)



①ダンボールを組立て、底に補強用のダンボールを敷く。



②ふたを立てた状態で固定し、取手の穴や隙間をふさぐ。



③ダンボールに基材を入れる。



④水を少量ずつ入れて、コンポストカバーをかける。



※レンガと網の上にコンポストを乗せると、底面の通気性が良くなります。

●生ごみの投入 (分解)

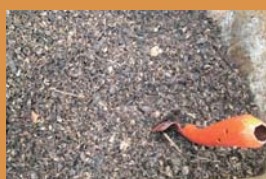


①生ごみをコンポストに投入する。
・1日に300～500g程度
・できるだけ水分をきって
・塩分の強いものは×



②投入した生ごみと基材を混ぜる。
・水分調整も実施 (森の土程度の湿り気を維持)
・生ごみ多量なら基材の追加も

●生ごみの堆肥化 (熟成) ※約3か月



・1週間に2～3回程度、混ぜる。
・適時水分を補給する (生ごみ投入時と同じ)



・約3か月後、一部を暖かい場所に半日置き、臭いがなければ熟成が終了しているサイン。